

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
心理学 A		人間行動の科学		兼高 聖雄	1 年次前期	2
科目区分	基礎	キーワード	行動の分析、人間行動の理解			
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目		特になし				
講義の目的	心理学的なものを見方を理解することを基本的な目標とする／同時に現代心理学の基礎的知識を身につける／さらに学んだ知識を応用的に適用する力を身につける。					
到達目標	社会現象の分析や人々の行動の理解、さまざまな社会行動の分析をする方法を学ぶ。					
講義内容	基礎的心理学の各領域について概説する。人間の行動を分析し科学する学問である心理学の全体像を半期で提示する。またそれぞれの研究領域が現実の社会現象や社会行動を分析するときどのように役立つのかを説明する。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	授業の方法と目的	心理学の様々な領域を紹介しこの講義の目的を説明する			
	第2講	心理学とは何か	心理学的なものを見方、行動の分析とは何か			
	第3講	人間の情報処理 1	感覚の心理学。外界を捉える行動			
	第4講	人間の情報処理 2	感覚の心理学。精神物理学的分析			
	第5講	人間の情報処理 3	感覚と知覚			
	第6講	人間の情報処理 4	記憶情報処理			
	第7講	人間の情報処理 5	思考と創造			
	第8講	行動の背景 1	学習と行動分析心理学			
	第9講	行動の背景 2	欲求と感情			
	第10講	行動の背景 3	欲求から態度へ			
	第11講	行動の背景 4	パーソナリティの基本			
	第12講	行動の背景 5	パーソナリティ心理学			
	第13講	行動理解 1	発達とその段階			
	第14講	行動理解 2	社会行動とその分析			
	第15講	確認と評価	全体像を提示する			
指導方法	通常の講義形式であるが、教材はすべてコンピュータで提示する。できるだけ双方向の展開を予定しているので積極的な授業参加と、しっかりしたノートテイキングが求められる。					
事前学習	前回のトを整理し、授業内で参考となる他の授業で学んだ事柄をふりかえっておく。 学習時間の目安：20 分程度					
事後学習	毎回、主として学んだ事柄を活用して生活の中の出来事や社会的現象を分析する。 学習時間の目安：40 分程度					
成績評価方法	本試験（レポート）20%、平常点（授業内課題）50%、平常点（応用課題）30%					
テキスト	特になし					
参考書籍	授業内で適宜指示する					
特記事項						